

## 【総 説】

臨床工学技士による胸腔鏡手術における  
カメラ助手業務の現状と課題

あら	き	くに	お	まつ	おか	ゆう	き	やす	い	ひろ	はる
荒	木	邦	夫 <sup>1)</sup>	松	岡	佑	樹 <sup>1)</sup>	安	井	宏	治 <sup>2)</sup>
むろ		たか	のり	まつ	もと	たか	ふみ	すぎ	はら	きょう	こ
室		孝	徳 <sup>2)</sup>	松	本	隆	文 <sup>2)</sup>	杉	原	恭	子 <sup>2)</sup>
ない	とう	りょう	や	いわ	た	けん	や				
内	藤	凌	矢 <sup>2)</sup>	岩	田	賢	也 <sup>2)</sup>				

キーワード：胸腔鏡手術，臨床工学技士，カメラ助手

## 要 旨

医療従事者の働き方改革に関連したタスクシフト／シェア議論の観点から臨床工学技士の業務範囲が追加され，内視鏡手術における臨床工学技士による内視鏡スコープの操作が定められた研修の受講後に可能となった。当院ではこの制度をいち早く導入し，現在6名の臨床工学技士が主に胸腔鏡手術でのカメラ操作業務に従事している。この開始にあたっては自院独自の講習と実技演習を行い可能な限り安全を担保した上で始動としているが，臨床工学技士の手術解剖の理解および胸腔鏡での視野の見せ方についてはまだ改善の余地がある。一方，胸腔鏡を含めた手術機材のセッティングおよび手術中の予期せぬ不具合への対応においては臨床工学技士の専門性が遺憾なく発揮され，安全な手術遂行に一役買っている。今後も医療者間同士の良好な信頼関係を構築しながら，この制度をさらに有益なものとしていきたいと考えている。

## はじめに

当院は2023年4月に呼吸器外科を開設し，現在呼吸器外科医2名体制で当該疾患の診療にあたっている。実施する呼吸器手術の大半で胸腔鏡を使用しており，その際は術者，助手とともに胸腔鏡

を操作する助手（以下カメラ助手）が手術に入ることが手術の安全性を担保する上で望ましいと考えている。そこで「臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修」<sup>1)</sup>（以下厚労省指定研修）を修了した当院臨床工学技士が，呼吸器外科開設に併せてカメラ助手として手術に入り研鑽を重ねてきた。

手術症例の増加とともに明らかとなってきた臨床工学技士のカメラ助手業務における利点および今後の改善点について検証する。

Kunio ARAKI et al.

1) 松江市立病院 呼吸器外科

2) 同 CEセンター

連絡先：〒690-8509松江市乃白町32-1

松江市立病院